

平成17年1月4日(火)午前9時解禁

各 位

株式会社 三井住友銀行

昨年は、大型台風の直撃や新潟県中越地震、インドネシア・スマトラ島沖地震等、国内外で大規模な自然災害が相次ぎましたが、新年に際し、被災された方々や被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

頭取年頭メッセージ要旨

本日、当行 頭取 西川 善文は、全役職員に対して次の趣旨のメッセージを送りましたのでお知らせいたします。

【要旨】

ここ数年間に我々が経験したものは、まさに未曾有のスピードで押し寄せる「変化」の連続だったが、我々は、直面する難しい課題に一つ一つ正面から挑み、これを乗り越えてきた。

本年は干支でいえば、「乙酉(きのと・とり)」で、「外からの強い圧力を受けつつも、内外に醸成されてきた若い力が、盛り上がりを見せる」という年回りだが、今、「失われた10年」といわれる1990年代に積み重なった多くの課題を一つ一つ克服し、新時代の曙光(しょうこう)を垣間見つつある我々にとって、まことに相応しい年回りである。

現在、経営の最重要課題の一つである「バランスシートのクリーンアップ」は、総仕上げの段階に入っており、本年3月末までに不良債権比率を半減するという目標についても、既に昨年9月末の段階で前倒し達成することができた。また、様々な業務分野においても、「収益力の一層の強化」に取組み、着実に成果を上げた結果、当行は、「最高の信頼を得るトップバンクの実現」に向けて、確かな歩みを進めている。

今後は、当行の経営が新しいステージに入ったことが鮮明となるような新たな資源投入を前提として、前向きに、様々な戦略を、思い切って打ち出していく予定である。

この新時代の劈頭(へきとう)に立ち、今一度、「銀行はサービス業である」という原点に立ち返って、「三井住友銀行のブランドの下で新しい価値を顧客や社会にもたらすのだ」という熱い誓いを新たにしたい。

以 上